

大阪府立農芸高等学校 令和4年度第2回学校運営協議会

参加者：A 美原区長 山田様 B さつき野学園長 中曾様
C 同窓会会長 田中様 D PTA会長 古後様

校長、教頭、首席3名、進路部長、生活指導部長、保健部長、情報主担
P科科长、Z科科长

(欠席：農業大学校 根来様 帝塚山学院大学大学院教授 大堀様)

司会：本校教頭

1. 学校長挨拶
2. 参加者挨拶
3. 協議

(1) 校長より、スクールミッション・スクールポリシーについて説明があった。

- ・高等学校の質の確保、向上をめざすため
- ・特色、魅力ある教育
- ・スクールミッション：各学校が育成を目指す資質能力を明確にするために学校設置者が各高等学校の存在意義や期待される社会的役割等を明確化したもの。
- ・スクールポリシー：スクールミッションに基づき、どのような資質能力をどのようなカリキュラムで育成するのか。どのような中学生に入学してほしいのかを示した教育活動の方針
- ・本校のスクールミッションについて説明（別紙参照）

質疑応答 特になし

(2) 第一回授業アンケートの結果について

教頭よりアンケート結果の説明があった。

- ・予習、復習のポイントが低い。(帰宅後に課題に取り組む姿勢が身につけていない)
- ・授業に集中して取り組んでいるポイントは高い。
- ・農業科と分かって入学しているが、どの数値も高いので、期待に応えられていると感じる。

質疑応答

委員B：「質問1と質問2の回答から、生徒たちは、自己分析ができていると感じる。授業が集中して受けられてるのなら、予習復習もできるのではないかと考える。仕組みやしかけ、きっかけを作ると数値が上がると思う。」

教頭： 実例があれば教えてほしい。

委員B： 難しいとは思いますが、反転学習などがある。予習していなければ授業に参加できない状況をつくりだす。やる気はあるので、きちんとやってくるのではないか。ただ宿題を出すというのではなく、授業につながるものを出してあげるほうがよい。

委員A： 理数系という区切りでいえば、理科のポイントが全体として高いのに対し、逆に数学が低い。数学が苦手だったとしても、工夫することでポイントがあがるのではないか。興味をもてればポイントがあがるのではないかと思う。

委員D： 数学のポイントが低い点が気になる。確認テスト（復習テスト）等を行うなどしてもよいのでは。考査前の補習についても、理解ができていない生徒は積極的に呼び出してもらってもよいかと思う。今後の改善は数学科からはじめてみてはどうか。

校長： 1年生のポイントは高いが、2年生で落ちるポイントが低くなる傾向にある。予習・復習については、やっていないわけではない。特に1年生は観点別学習評価がはじまり、課題が多くでている。それを生徒が予習・復習と感じていない場合も考えられる。数学についてはポイントが低いのが現状である。また各教科で対応してもらおうよう指示する。

（3）学校経営計画について（進捗状況）および各分掌からの報告

教務部

- ・少人数展開授業
- ・観点別学習評価 会議や交流の実施
- ・異校種交流の報告

情報部

- ・デジ楽採点導入について
- ・グーグルコア研修を校内にて実施（全教員対象）
- ・その他の追加研修も希望者は参加予定
- ・リーディングGIGAハイスクールアドバンスクラスに認定
（普通科教室 + 1 教室に電子黒板が設置される予定）
- ・今後の予定
（保護者向けグーグルアカウントおよび保護者用HPの作成
欠席連絡や配布物の電子化、メールツールもグーグルへ一本化
連絡にチャットを活用
農場にWi-Fiの設置）

生活指導部

- ・授業は静かに落ち着いて受けている。

- ・指導案件については、第7学区の中では比較的少ない。
- ・SNS関連が増加傾向にある。
- ・遅刻指導については1学期全体で800件超え。
- ・障害により、睡眠障害を起こしている生徒の対応がなかなか難しい。
生徒一人ひとりに対して個別に対応している。

進路指導部

- ・資料2枚（進路行事・実績、令和4年度就職内定進学予定状況、奨学金説明会の案内、大阪農業大学校見学会要項）

保健部

- ・学校経営計画より（2の3の（2））
- ・生徒の様々な悩みをまず聞くのは教員→SC
生徒に安心して話してもらうため、今年度1月にSCから聞き取りの仕方について研修を行う予定
- ・昨年度資料より（歯科検診をうけて）
歯垢や歯肉の炎症などが多く、口腔内の状況がよくない生徒が多い。

総務部

- ・コロナ禍でできなかったものが、実施できるようになった。
- ・広報関係の説明

農場部

- ・農業クラブ大会近畿大会で優秀賞を受賞
- ・地域連携活動も復活傾向にある。
- ・その他別紙（1枚）資料にて詳細説明
- ・スマート農業高校としても表彰されている。

ハイテク農芸科

- ・別紙資料（1枚）あり
- ・日本学校農業クラブ連盟級位検定「特級」3名合格
- ・外部連携について

食品加工科

- ・コロナ禍での制限が解除され、地域連携が復活。
- ・高校生カフェの復活。現在1月の開店に向けて準備中。
- ・流通専攻「Nexus」美原商店街にて販売。
- ・カレーの販売の実施。
- ・食品の製造販売許可がおりない。（施設の問題）そのため外部の販売が難しい。
- ・農芸ブランドを対外には出せない状況。食品加工場を新しくしたい。

資源動物科

- ・鶏舎と水禽舎が完成。防疫対策設備も装置された。
- ・鶏インフルエンザが今年度は流行しているので注意している。
- ・本校前の「ラ・トルチュ」様（本校P科卒業生）に鶏卵の販売を実施。
- ・食鳥処理棟も建ったため、解体された鴨の販売ができるようになった。
- ・ふれあい動物専攻の100年の丘でのふれあい活動の回数が増加。
- ・その他、地域連携（卒業生）も多数。
- ・飼育管理のマニュアル化等を今後も検討。

質疑応答

委員B：本校のうさぎがなくなり、モルモットやうさぎの貸出を行ってもらっている。資源動物科で販売できるのに対し、食品加工科ができないことがわかり、切実な思いが伝わりました。企業とのコラボがあればまた教えてほしい。

委員A：就職の内定状況について、コロナの影響はどうだったのか。地域との連携の中で、美原商店街の活性化に向けての取り組みについて詳細が知りたい。ららぽーとの出店についてもお聞かせ願いたい。

進路： コロナ禍での就職への影響について。コロナ前は2名が不合格だったのに対し、昨年度は5名不合格であった。ただ、2次試験では受かっているという状況であった。高校求人についてはコロナ前で100社ほどあったのに対し、75社に減り、現在80社となっている。応募前職場前見学ではコロナ感染によって日程変更等があった。

委員A：就職や進学はいつごろ分かれるのか。

進路： 2年生の12月に説明会があり、就職を少しでも希望する場合は、参加させている。3年生の始めに希望をとり、それぞれの指導を行っている。

農場： 葉菜の森で販売ができるようになったのは、卒業生からお声がけいただいて実現した。

P科： 流通専攻の3年生がアプローチしたことにより実施できた。商店街の方と打ち合わせを何度も行い、内容が決定。商店街の空き店舗を利用しパンの販売を行った。また手作りピザの講習も行った。古代米の活用等も行った。この活動を通して流通の勉強研究も行っている。校内において「会社」として経営についても学んでいく。次回は1月に実施予定。年2～3回の実施予定となっている。

4. その他

委員C：進学について、専門学校へ行かれる生徒さんはどれくらいいるのか。

進路： 全体の38%の生徒は専門学校へ進学している。園芸関係、調理関係、製菓関係、動物関係

の専門学校を選択している生徒もいれば、看護や美容といった専門学校へ進学する生徒もいる。
他、公務員受験専門学校へ進学する生徒もいる。

今後の予定

第3回 令和5年2月10日（金） 午後より 総括